

6 収穫予想表・地位スコア運用実態の調査

昨年度業務にて実施した検討委員会にて、委員より収穫予想表の利用について、各森林管理局、各森林管理署など国有林の現場部門にてどのように利用されているか把握すべきとのご意見を頂き、本年度では四国森林管理局計画課を対象として、収穫予想表および本年度から解析対象となった地位スコア表の運用状況について書面にてアンケート調査を行った。併せて四国森林管理局では収穫予想表について中心線のみ運用としていることから、この理由についても伺った。以下、これにかかる質問と回答について記載する。

質問 1

四国森林管理局内の収穫予想表を確認しますと、1つの地域について収穫予想にかかる成長曲線が1本（大径材を含めるならば2本）となっております。

他地域の森林管理局や民有林では成長を同一地域で3段階～6段階に分けて、地位指数別に管理するパターンが多いのですが、四国地域でも同一地域で地位に応じた複数の成長曲線が必要なのではないかと考えられますが、その点について、どのようにお考えでしょうか。地位に応じた調整について、現場の管理の中で適切に行われているということであれば、その実施状況について、具体的な方法をお教えてください。（地位に応じた複数の予想を作らず、標準的なもの（一つ）に対し、地位等の現地状況に応じて、標準を適宜調整して適用するという案もある中、どのようなやり方が最も効率的・効果的かを検討したいと思っておりますので、成長曲線1本の四国局のやり方を参考にさせていただきたいと思っております。）

(回答)

平成元年度作成の収穫予想表は、同一地域を3段階の地位に分けて収穫予想表を作成。平成5年度に同一地域1種類の収穫予想表に改訂。そのように改訂した理由は、3段階の収穫予想表があると、システムに入力する上で複雑となるため、業務の省力化を図る観点から、3段階の収穫予想表を当時使用していた地位2（中位？）の収穫予想表に統一した。

質問 2

現行の収穫予想表の乖離が現実より大きいと言われる原因として、過年度の業務検討結果では樹高の差よりも間伐手法が弱度間伐（下層間伐）から利用間伐を主体とした上層間伐に代わり、本数や材積が大きく異なるため、これは現行の収穫予想表を作成した昭和40年代に想定した施業体系と異なってきているためではないかと想定しますが、四国森林管理局内でも同じような状況があり、収穫予想表と実態の乖離があるのか、それは事業実行上の課題がないのか等をご教示頂ければと思います。

（回答）

ご質問のとおり、間伐の手法が、利用間伐（搬出間伐）にシフトしたことにより、調査簿の ha 当たり蓄積（収穫予想表に基づき計算）と現況とが合わないことが多い。また、間伐実施後は、間伐実施前と比べて成長量が大きくなると考えられるが、間伐前と同じ成長量で計算していることも調査簿と現況とが合わない原因。他方、調査簿データが現地の現況を正確に反映していなくても、主伐・間伐の事業実施時には、必ず現地調査を行い、正確な ha 当たり蓄積を把握している。

質問3

収穫予想表や地位指数スコア表を四国森林管理局内で特に利用する業務（どのような場面で利用しているか）と、それに対して課題があればご教示ください（例えば仮に、実態との乖離が出てきたので、局にて予想表や地位指数スコア表の見直し作業を行っているなどあれば、その内容についてもお教え下さい。）。

（回答）

<収穫予想表を特に利用する業務>

調査簿の ha 当たり蓄積の計算に利用。

<地位指数スコア表を特に利用する業務>

過去に算出した地位等級（地位指数スコア表を利用し、地位指数（40年生の樹高）を算出し、地位判定基本図（林野庁作成の収穫表ベースのもの）に当てはめて算出）を現在でも利用。林小班毎の地位等級（地位級）は土地の生産力を判断する指標の1つとして活用しており、修正する必要はない。

なお、地位指数スコア表を使って求めた地位指数（40年生時点の樹高）は、林野庁作成の収穫表ベースの地位判定基本図に当てはめて地位等級（地位級）を求めており、地

位指数スコア表と収穫予想表は連動していない。

質問4

今後、収穫予想表を集約化または細分化するにあたり、現場からの情報などを鑑みて、四国森林管理局内の地域として細分化もしくは集約化を希望する地域もしくは区分（1等～3等など）はあるか。（地域として特に明示できるものがあればご教示頂ければと思います。）

（回答）

平成元年度に作成した収穫予想表（高知営林局）では次の順序で成長量が高いとして、四国を5つの計画区に区分。

安芸＞高知＞四国西南＞松山＞高德

5つの計画区の地域（当時の営林署）は、次のとおり。

- ① 安芸：安芸、魚梁瀬、奈半利
- ② 高知：大正、窪川、須崎、高知、本山、大柘
- ③ 四国西南：宇和島、宿毛、清水、中村、川崎
- ④ 松山：西条、松山
- ⑤ 高德：徳島、高松